



造影 CT 検査について

様用

検査日時： 月 日（ ） 時 分

- スムーズに行うために、**検査時間の 45 分前迄に 1 階総合案内の紹介窓口**へお越し下さい。
※**検査前に当院にて血液検査を予定されている方は 60 分前迄にお越し下さい。**
(検査時間を 30 分以上過ぎると検査ができなくなる場合があります。)
- 当日都合の悪い場合は必ず前もって下記連絡先にご連絡下さい。
- 精密機器を使用しておりますので、予期せぬトラブルが発生する場合があります。
その場合予約日時を変更させて頂くことがありますのでご了承下さい。
- 救急患者の対応を優先する場合があります。
それにより予約時間が多少ずれることがありますのでご了承下さい。
- 健康保険証、医療受給者証、お薬手帳などをご持参下さい。

ご予約・お問い合わせに関する連絡先

中部国際医療センター 放射線技術部 直通：0574-66-1328（内線 4300）

※時間外（17 時以降）は…

病院代表：0574-66-1100 より 当直放射線技師へお繋ぎします。

造影 CT 検査を受けられる方へ

以下をよく読まれた上で問診票をご記入ください

造影 CT 検査とは

- ◆ X線を用いて体の輪切り画像を撮影し、様々な臓器を詳しく検査します。
検査台に寝ていただき、ドーナツ型の装置により撮影を行います。
- ◆ 途中で腕の血管から造影剤を入れ再び撮影をします。検査時間は約 10～20 分です。

食事・水分摂取・薬について

- ◆ 検査前に、200ml 以上の水またはお茶を飲んでください。コーヒー、ジュース類は避けてください。なお、心疾患、腎疾患などで水分制限されている方はお申し出ください。
- ◆ 腹部検査の方は、4 時間前より絶食です。
- ◆ 常用薬はいつも通り服用して下さい。
- ◆ 糖尿病の方は、当日のお食事・お薬については主治医にご相談下さい。（禁忌の糖尿病薬あり）ビグアナイド系糖尿病薬は検査前 48 時間と検査後 48 時間まで服用を中止して下さい。

検査の注意点

- ◆ 心臓ペースメーカーのある方は検査前の専門医による問診時にお申し付け下さい。
- ◆ 妊娠中の方、妊娠している可能性の方は、主治医にご相談下さい。
- ◆ 授乳中の方は、この造影剤注射後 48 時間は授乳を中止する必要があります。

検査に入る前に

- ◆ 検査部位にアクセサリ等の金属・金具類がある方は、外して頂きます。
また、検査着に着替えて頂く場合があります。

検査中は

- ◆ 検査中は、急に動かないようお願いいたします。撮影開始の合図や、息止めの合図は別室からスピーカーを通じて声をかけさせていただきます。気分が悪くなったり、不安になった場合は、遠慮なくお知らせ下さい。

検査後は

- ◆ 造影剤を尿として体外に出すために、水分制限の必要がない方は、十分に水分をお取り下さい。検査後、気分不快、発疹などの症状がありましたら、速やかにお知らせ下さい。ごくまれに数時間・数日後に発疹やむくみ、かゆみなどの副作用がおこることがあります。そのようなことがありましたら、表紙のお問い合わせ先へご連絡下さい。

医学的利用について

- ◆ CT検査で得られた画像や、それに伴う一連の検査によって得られた結果(血液検査など)は、検査を受けた本人が特定できないように配慮したうえで、学術・研究等に利用させて頂く場合があります。

CT 検査と放射線被爆について

- ◆ 撮影の条件によっても多少異なりますが、頭部のCTでは 0.5-1.5mSv (シーベルト)、胸部のCTでも 7.0mSv といったところです。一般に、人間の体に影響が出始める被爆量としては、200mSv と言われています。また意外なようですが、私たちは自然界からも放射線を浴びており、その平均が年間およそ 2.4mSv と報告されています。

費用について

- ◆ 読影医による問診を含め、健康保険の 3 割負担の方で約 9 千円～1 万 3 千円です。

ヨード造影剤についての説明

今回のCT検査では、ヨード造影剤という薬剤を注射して撮影する予定です。

この造影剤は病気の有無や病気の性質、範囲を単純CT検査より正確に評価するために用いられるものです。そのため、病気がある場合には最良の治療方針を立てるためにとても役立ちます。

副作用について

① 軽い副作用

吐き気、かゆみ、くしゃみ、咳、咽喉頭（のど）違和感、動悸、頭痛、発疹等です。造影剤投与直後に現れることが多いですが、検査の1~2日後に発疹が現れることもあります。これらは治療を要さないか、1~2回の投薬や注射で回復するものです。このような副作用の起こる確率は約100人につき1~1.5人、約1~1.5%です。

② 重い副作用

呼吸困難、ショック、意識障害、血圧低下、腎不全等です。この場合入院治療が必要になり、場合によっては後遺症が残る可能性があります。このような副作用の起こる確率は約6000~9000人につき1人で、約0.01~0.02%です。病状・体質によっては10~20万人に1人の割合（0.0005~0.001%）で死亡する場合があります。

③ 造影剤を注射する時には

体が熱くなることがありますが、薬剤が血液よりもやや濃いことにより感じるものであり、心配ありません。勢いよく造影剤を注入するために、血管外に造影剤が漏れる場合があります。この場合、注射部位が腫れて痛みを伴うこともあります。基本的には時間が経てば吸収されますが、必ずスタッフにお知らせ下さい。

- ④ 造影剤による副作用は、検査中或いは検査直後に起こることが多いので、造影剤注入時や注入後に何か異常を感じられましたら、ためらわずにすぐにお知らせ下さい。
- ⑤ 腎機能が低下している方に造影剤を使用すると、腎機能が悪化することがあります。このため腎機能の悪い方には造影剤を使用するか否かを慎重に決定する必要があります。
腎臓病・人工透析の有無については、問診票にもれのないように記入して下さい。
- ⑥ **今までにヨード造影剤で副作用の起こった方**は、原則この造影剤は使用できません。もし造影剤の副作用歴があれば、造影剤の種類を確認する必要があります。
検査予約の段階で必ず主治医にお知らせ下さい。
- ⑦ ぜんそくの方も副作用のリスクが高いため、予約の時に必ず主治医にお申し出下さい。

検査後の注意点

- ◆ この造影剤は主に尿から排出されます。疾病により水分摂取制限をされていない方は、検査後しっかり水分をお取り下さい。
- ◆ 副作用は通常、造影剤投与直後から数分後（検査中、検査直後）に起こりますが、数時間から数日後に起こる場合もあります。帰宅後、数日の間に、何か変わったこと（発疹、むくみ、かゆみなど）が起こりましたら、すぐに来院されるか、病院（表紙の連絡先）までご連絡下さい。入院中の方は病棟主治医・看護師にお知らせ下さい。
- ◆

検査の内容や造影の使用、同意について

- ◆ 検査当日にご不安・ご不明な点がございましたら、主治医もしくはスタッフにご相談下さい。
- ◆ 検査日までに、検査や造影剤を使用することに「同意したけれど撤回したい」「質問がある」という場合は検査依頼元の医師に相談して下さい。
- ◆ 検査当日になって検査や造影剤を使用することに「同意したけれど撤回したい」「質問がある」という場合は院内の担当スタッフにお申し出下さい。